



アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われている自然再生事業の進展をお伝えする新聞です。
この事業は住民参加の事業で、どなたでも検討会に参加できます。
Vol.21では第37、38回検討会、平成16年度アザメの瀬研究報告会の内容をお伝えしました。
Vol.22では、第40、41、42回検討会の内容をお伝えします。

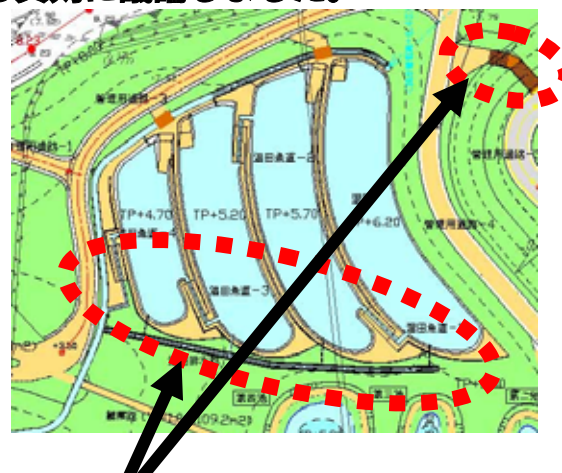
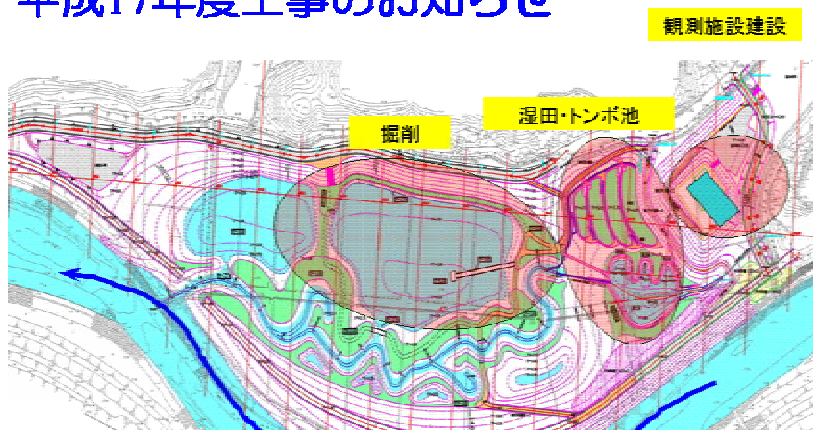
第40回アザメの瀬検討会 H17.4.27

今回でなんと40回目のアザメの瀬検討会が開催！！

今回は、平成17年度の工事内容について議論しました。今年度の工事は、①環境学習施設(仮称)②上流部の池③湿田及びトンボ池の創出です。

今年度、アザメの瀬がほぼ完成しますので、みなさんも真剣に議論しました。

平成17年度工事のお知らせ

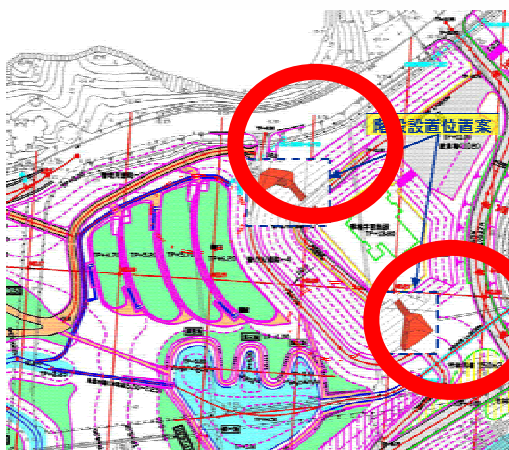


- ①意見として、湿田は4反(たん)あるが、例えば上の2反しか使用しない場合の排水はどうするの？排水ルートを決めることはできない？
- ②湿田から観測施設へのアクセスについて市道からのルートがあるが、他にも階段をつけてすぐ行けるようにできないか？
- ↓
- ①結果、利活用面等考慮し湿田に排水ルート(1反又は2反使用した場合の排水ルート)を設置！！
- ②次回検討会で案をだす

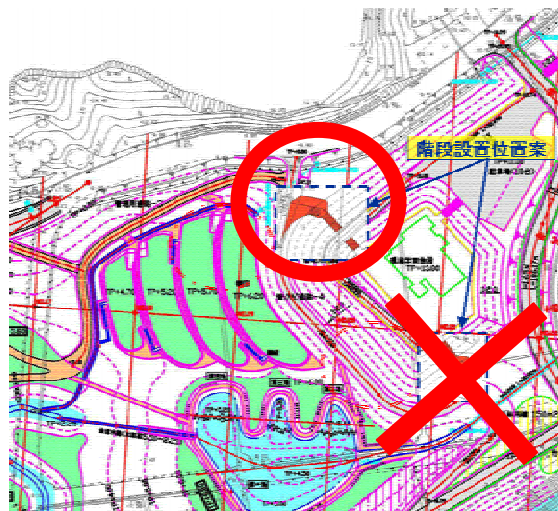
第41回アザメの瀬検討会 H17.6.7

今回は、8月に完成する施設について、親しみをもち今後活用して頂けるような名前について、募集を行い施設名に関する意見交換を行いました。また、前回の検討会で観測施設へのアクセスについて、「階段は、1箇所より2箇所あったほうが便利」との意見があり、再度、階段の位置について議論しました。

◎前回の検討事項であった階段設置について・・・



議論した結果、安全性と景観を考え湿田に近いほうのみ設置することになった。



第42回アザメの瀬検討会 H17.7.26

今回は、前回募集した環境学習施設（仮称）の名称決定と東京学芸大学 吉富友恭助教授を招いて8月完成を予定している学習施設の展示パネル内容と施設内の展示物整備について、検討会参加者に対してアンケートを行いました。施設内の展示物整備に関するアンケートの方法については、意見聴取の方法にて行いました。

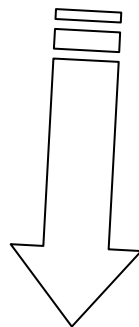
意見聴取の方法は、名刺サイズの何も書いていない紙に施設の中に①どんなものがあつたらいいか②どんなものがあつたらいいかという内容で、1枚の紙に1つだけ要望を記入してもらいます。

その結果を地元の立場、研究者の立場、行政の立場での意見をまとめ、整備方針をまとめます。

環境学習施設（仮称）の名称について

名前	支持数	名前	支持数
環の国づくり学習館「イダの里」	1	自然再生ビジターセンター アザメの瀬学習館	6
アザメ館 (かん・やかた)	18	自然再生ビジターセンター 松浦川環境学習館	1
松浦学習館	1	環の国づくり学習館 「アザメの瀬」	5
松浦川観察室	0	自然環境ビジターセンター アザミ学習館	1
アザメの瀬自然環境学習センター	26	アザメの瀬学習センター さんさんReぼん館	0
アザメの瀬自然環境ビジターセンター	0	松浦川環境学習センター 「満緑館(みりよくかん)」	0
松浦学習館 アザメの里	2	相知自然再生 アザメ館	15
アザメの家	4	自然再生アザメ館	20
松浦川 アザメ館	12	松浦川	

みなさんから、募集を行いさまざまな建物の名前が出されました。中でもより支持が多かったベスト3に入った名前に対しての応援説をして頂き、最終的にきまった名前は…

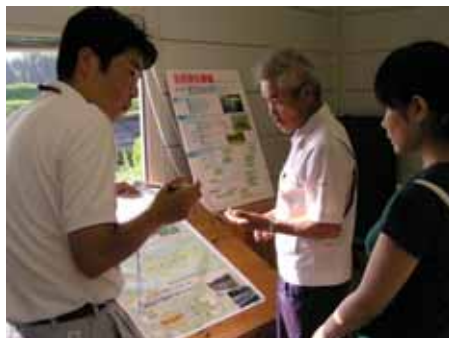


『松浦川 アザメの瀬自然環境学習センター』

つづいて、既存展示パネル及び建物の整備の検討について…



▼展示パネルアンケート風景



専門用語がね…。

あと、文字を大きくしてほしいなあ。

▲東京学芸大学 助教授 吉富友恭先生

アザメの瀬自然環境学習センター内の整備については、今後皆さんの意見をとりまとめて、建物の整備へと活かしていこうと思います。どうぞ期待で～す！！

国土交通省 九州地方整備局

武雄河川事務所

Tel 0954-23-7933 Fax 0954-23-5193

<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>